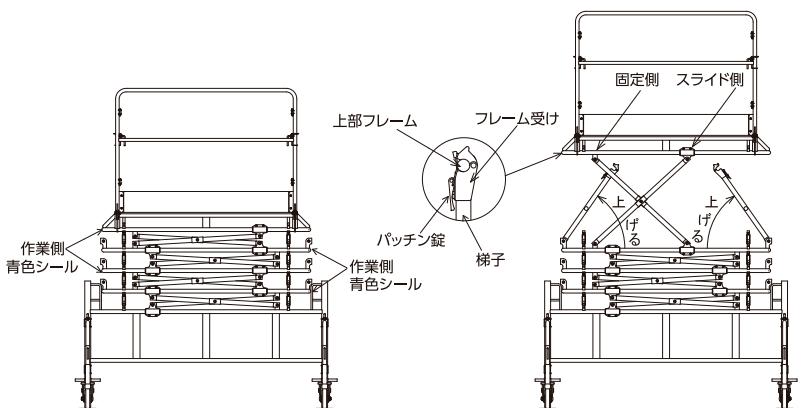


### 3.1段目の上昇(降下は逆手順)

- ①1段目のパッキン錠4箇所を外し、上部床面を持ち上げて下さい。バネにより、軽い力で持ち上げることができます。  
上昇作業は、スライド枠の「こちら側から作業して下さい」シールが貼付してある固定側を持って作業して下さい。反対側は補助のみ行って下さい。
- ②本体内側に折りたたんだ左右の梯子を起こし、フレーム受けを上部フレームに隙間がないようにセットし、パッキン錠左右各2箇所を確実に留めて下さい。

- 注意**
- 上記シールの反対側で作業をするとスライド枠が変形する恐れがあります。
  - 梯子より外側を持つと手を挟まれことがあります。
  - 上昇の際勢いよく上げると頭をぶつけることがあります。
  - 上部フレームとフレーム受けのセットが不十分だと、パッキン錠が変形する恐れがあります。



### 4.2段目の上昇(降下は逆手順)

- ①段目と同様にパッキン錠4箇所を外し、フレームを持ち上げてから左右の梯子を起こし、梯子の先端のパッキン錠左右各2箇所を留めて下さい。
- ②上昇作業はスライド枠の「こちら側から作業して下さい」シールが貼付してある固定側を持って作業して下さい。反対側は補助のみ行って下さい。

- 注意** 上記シールの反対側で作業をするとスライド枠が変形する恐れがあります。

### 5.3段目、4段目の上昇(降下は逆手順)

2段目の上昇と同様に組立てて下さい。

### 6.作業床への乗り降り

- 作業床への乗り降りは梯子を利用し、リトラクタ式墜落防止器具等を使用して下さい。
- 落下阻止器具は手摺枠の柱に取付けて下さい。
- 扉開閉の際は十分注意し、作業床への乗り降り時以外は閉めて固定して下さい。  
車輪4点に荷重がかかっていること。本体が水平になっていること。アウトリガーが確実に固定されジャッキベースが地面や床に着いていること。

### 7.横移動

- 原則として作業床を最低の高さまで下げてから、アウトリガーのジャッキベースを上げて下さい。
- アウトリガーのロックレバーを緩めてからアウトリガーを折りたたみ、キャスターのブレーキを解除し移動して下さい。  
移動に関しては、天井等上空空間の安全を確認して行って下さい。
- 絶対に人を乗せたまま移動させないで下さい。

### 8.注意事項

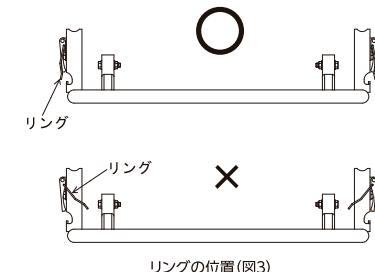
- 上昇及び下降時は、可動部、受け金具等を指や手で触れないで下さい。指詰め等発生の危険があります。

### 3 収納手順

収納手順は、組立作業の逆の手順で行います。

**注意**

- 下降する時はパッキン錠のリングが外側に来るようにして下さい。  
内側に入る込むとパッキン錠を止めることができなくなります。 (図3)



- 収納時扉は手摺枠に固定して下さい。  
(図4)

